

⚠ 注意

アルコール類を使用する場合は、引火性が高いので取り扱いには十分注意してください。火災・ケガのおそれがあります。

レンズ

- ホコリはブローやエアダスターで吹き飛ばしてください。
- 指紋や油脂類の汚れは、IPAや無水アルコール(エチルアルコール、メチルアルコールなど)を柔らかい布にわずかに含ませて軽くふき取ってください。

レンズ以外

- 柔らかい布で乾拭きするか、界面活性剤を使用して汚れを落とします。界面活性剤は十分にふき取ってください。
- 使用時以外は付属のキャップをCマウントに装着し、ケースに入れて保管してください。
- 高温・湿気・ホコリを避けて保管してください。

別売部品

L-50-2

レンズフィルター

フィルター径46mmの
レンズ保護用フィルター。
ハンダ付け時の煙やフラックスの
はねによってレンズが汚れるのを
防ぎます。



関連製品

L-836

USBカメラ

パソコンに接続して観察
できる500万画素のカメラ。
カメラ本体の上下にカメラネジ、4面全てに
M4ネジ用の穴があり、アームなどと組み
合わせて使用できます。



L-803

フレキシブルアーム

カメラネジでカメラを
取り付けるタイプの
アームです。



マイクロスコープの選定をサポート

Zoom & Focus



Zoom & Focus 検索

ホーザン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。
<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーザン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日(祝日を除く)の10:30~12:00、13:00~17:00】

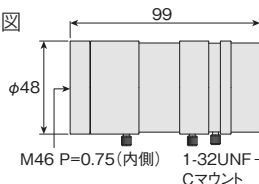
L-870

ズームレンズ

このたびは ホーザン L-870 ズームレンズ をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品情報をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

各部の名称と入組明細

寸法図



仕様

レンズマウント	Cマウント
作動距離	150~400mm※
重量	260g

※ この範囲の全ての距離でピントが合います。



光学倍率表 (作動距離50mmごとの光学倍率)

作動距離mm		150	200	250	300	350	400
光学倍率×	最小	0.08	0.054	0.042	0.034	0.029	0.025
	最大	0.8	0.54	0.42	0.34	0.29	0.25

注意文の警告マークについて

ご使用上の注意事項を次のように区別しています。

⚠ 警告 … 重傷をとまなう重大事故の発生を想定してのご注意

⚠ 注意 … 傷害や物的損害を想定してのご注意

なお、⚠ 注意 として記載されていても、あるいは特に記述がなくても、状況によっては重大な結果をまねくおそれがあります。正しく安全にご使用ください。

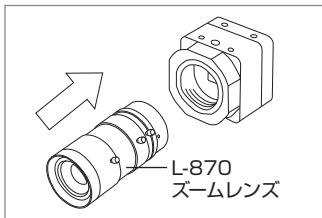
ご使用上の注意

⚠ 注意

本器はCマウントカメラ用のズームレンズです。この目的以外に使用しないでください。

準備

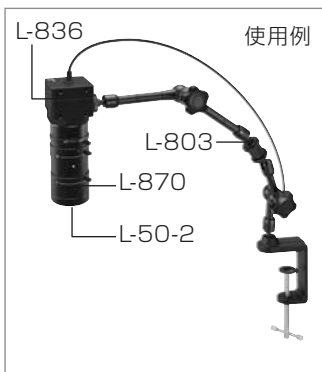
- 1 Cマウントカメラに本器Cマウントを取り付けます。
マウント部のキャップを外し、時計方向にねじ込んで固定してください。



- 2 カメラをパソコンに接続するなどし、観察できる状態にします。
※接続方法についてはカメラの取扱説明書をご覧ください。
L-851 フルHDカメラを使用する場合は、カメラ側の50mmマウントベースを取り外してからご使用ください。
レンズにマウントベースが干渉して正常に取り付けられません。
※ 詳しくは L-851 フルHDカメラの取扱説明書をご覧ください。

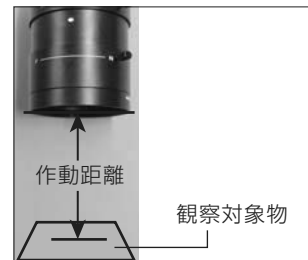
本器の保持について

ホルダーなどで本器を保持して使用することはできません。必ずカメラ側を固定してください。

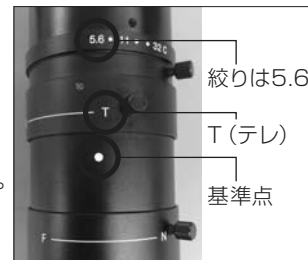


ご使用方法

- 1 作動距離を150～400mmの間で調整します。
作動距離とはレンズ側の先端から観察対象物までの距離を言います。
本器は作動距離によっても光学倍率が変化するため、1ページの光学倍率表を目安に調整を行ってください。



- 2 倍率を最大にします。ズーム調整リングのT（テレ）の表示が基準点の位置にくるようにしてください。
このとき、絞り調整リングのC（クローズ）の表示が基準点上にあると、映像が映らないため、5.6が基準点上にくるようにしてください。
その後、ピント調整リングを回してピントを合わせてください。



高倍率側でピント合わせを行う理由

低倍率ではピントの合う範囲は広く、倍率の上昇とともにその範囲は狭まります。高倍率側でピント調整を行うことで、ズーム全域でピントが合った状態になります。

- 3 ズーム調整リングと絞り調整リングを回して倍率と視野の明るさ、被写界深度を目的の状態になるように調整してください。
固定ネジ（ピント側・ズーム側・絞り側）を締めると、各調整リングを固定できます。

ヒント

倍率について

本器は観察対象物との距離を近づけるほど高倍率で視野が狭くなり、反対に観察対象物から遠ざけるほど低倍率で視野が広がります。
また、観察対象物との距離にかかわらずズーム調整リングを回すことで最大10倍のズームをかけることができます。用途に応じて適した位置に設置してください。